



片山 元八郎 議員

### 問 町立病院の 医師・看護師を確保せよ

#### 答 「地域保健医療機構」活用で人材確保

**Q** 持続可能な町立病院運営のための医師・看護師確保の予算計上がされていないのでは。

**A** 町長 将来に向けての人材確保は重要案件である。具体的には「地域保健医療機構」の活用、平成大学看護学科の学生を対象に奨学制度の検討など、陽正会との協議を経て人材確保を検討していく。基金を活用して対応する。

**Q** 小島バイパスの進捗状況は。

**A** 町長 河森橋付近から1200坪(第2工区)については、用地説明会が開催され現在、用地取得交渉に入っているが、数名の同意が得られていない。

### 小島バイパスの 早期完成を



工事中の宮谷川砂防ダム

### 宮谷川ダムを 多目的ダムへ

**Q** 宮谷川砂防ダム完成後、(平成27年完成予定)多目的ダムへの変更申請はどうなった。

**A** 町長 県は、当初から砂防目的ダムなので、貯水ダムへの変更工事はないという。しかし、完成まで数年あるので、用途変更など可能か検討したい。



上地区ポケット市場付近

**Q** 現在、3年計画で小島地区の漏水対策として、古い水道管の取り替えが行われている。これで、渇水期の「水」確保は大丈夫か。

**A** 環境衛生課長 まずは大丈夫と考えている。

**Q** 県道 吉舎油木線、カイハラ三和工場からポケット市場まで、歩行者の安全確保のため、歩道を新設すべきでは。

**A** 町長 平成23年度からの県に対する事業要望書のなかに入れている。予算カットで厳しいと聞いているが、県への要望活動は行っている。

### カイハラからポケット市場まで 歩道の新設を



瀬尾 征爾 議員

### 問 小規模農業法人化を 推進すべきでは

#### 答 一歩踏み込んで助成する

**Q** 未来創造計画を柱とした4点の最重要課題・新産業創造元年の取り組みは、今後の町の振興に欠かせない前向きな取り組みで評価する。しかし、喫緊の課題として、高齢化の集落での農地の維持・荒廃地の抑制対策がある。

新年度、新たな小規模法人化に対する助成制度ができたが、これを活用して組織化を進め、取り組む行政の積極的な姿勢がうかがえない。

リーダーの発掘・ピンポイント集落に対する働きかけが必要では。



源流の里しんざか(マルシェ出店)

**A** 町長 メリハリを付け、将来につながる組織化が可能となるころへは重点的に取り組む。小規模法人化への意欲があれば踏み込んで助成をする。本町の立地条件では、小回りの効く集団を作るのが実態に合っている。

**Q** 「源流の里」維持再生の取り組みで地域間格差がある。①体制・条件に問題はないか。②地域おこし協力隊の任期2年を3年に延長できるのか。

### 延長できるのか 地域おこし協力隊

**A** 町長 ①取り組みの地域間格差は承知している。取り組みの消極的地域へは、アドバイス・リーダー養成・研修などの支援が必要だと考えている。

**A** まちづくり推進課長 ②任期は2年としているが、本人の都合や地域の受け入れ態勢を見て決めたい。基本的には特別交付税措置される3年をめどと考えている。

### どう対処するのか 国家公務員給与削減法

**Q** 国家公務員給与削減法が成立し、地方にも適切に対応するよう求められているが、どのように対処するのか。

**A** 町長 地方は三位一体改革や合併などで身を切る改革を行ってきた。国は違憲状態で、定数は正も議員歳費削減も何もしていない。交付税カットがあれば不本意ながらも制度的なものだから受けざるを得ないが、現段階では国に追従することはない。

国は違憲状態で、定数は正も議員歳費削減も何もしていない。交付税カットがあれば不本意ながらも制度的なものだから受けざるを得ないが、現段階では国に追従することはない。